



松柏小学校 学校便り

R7. 12. 25 (木)

えがなかちゃん

No. 2 O

—笑顔・なかま・チャレンジ—

校長 加地孝昌

笑顔・なかま・チャレンジいっぱいの2学期

78日間の2学期も今日が最終日。2学期は、新宮少年自然の家、陸上記録会、写生大会、校内音楽会、マラソン大会と、様々な行事や活動がありました。どの活動も子どもたちは、**笑顔**で**なかま**と**チャレンジ**してきました。また、保護者の皆様も、いつも温かく子どもたちを見守っていただき、力強い応援団として学校を支えていただきました。ありがとうございます。



した。3学期も、「**ほめる**」ことを合言葉に、教職員一同、力を合わせ温かな教育活動をすすめてまいります。3学期もよろしくお願いします。

火元を想定しない避難訓練を行いました

本校の避難訓練は、火元を想定せず、消防職員の方に、「校内のどこかの火災報知機を作動させてください。」と一任し、消防職員の方が(ここだ!)と思う場所の火災報知機を作動させることにより訓練を行っております。当日まで、どこが出火場所か、子どもたちも先生も分かりません。本当の対応力が問われる訓練を行っています。



12月11日(木)9時半。火災ベルが鳴り響きました。火災場所は、『北校舎2階、2年花組の西側教室』。子どもたちの避難の様子を見ると、どの学級も、整然と無言で、安全に気を付けて避難ができていました。(よしっ!!)

子どもたちが混乱もなく行動できたのは、**各学級での事前学習があったことが大きな理由です。**
「もし、北校舎3階東の音楽室から火が出たらどう逃げたら安全？」
「もし、南校舎1階西の図工室だったとしたら、どうやって逃げる」・・・等々。



そのような事前学習を行うことにより、子どもたちが放送を聞きながら、どう逃げたら良いかを短時間で考え付くことができたということです。

これからも、「子どもたちが考え」、そして、実際の災害への対応力が高まる、そんな取組を工夫して行っていきます。**年末年始、火を扱う場合は十分に注意するようにしてください。**

チャレンジ！ 市PTA駅伝大会(12/7)を通して

子どもたちにチャレンジする大切さを伝えようと出場した駅伝大会。子どもたちに胸を張って伝えるには、とにかく完走しなければなりません。私の最初の目標は、「抜かれるのは3人まで」。しかし、この目標は抜かれるのが前提で、自分の弱さに勝つため、目標を「一人抜く」に変えました。大会当日、力の限り走り、「一人に抜かれ、二人を抜く」ことができたので、順位を一つ上げ目標を達成することができました。

また、アンカーとしてゴールまで来た時、先生方が私の似顔絵を描いた手



作りの旗(←左写真 似てる!)を振って、待っていていました。(感激(涙))

子どもたちには、自分の限界を決めず、いろんなことにチャレンジしてほしいと願います。お正月には、今年の目標を立てると思います。しっかりと目標を立て、チャレンジする一年にしてください。みんな、ガンバレ!!

謎かけです(^)「今後の松柏小とかけて」

ケガや事故に注意して笑顔100%の冬休みにしてください。1月8日の始業式で笑顔の子どもたちと出会うことを楽しみにしています。

最後に謎かけを一つ。「今後の松柏小とかけて」
「大谷翔平選手が満塁ホームラン2本打つと解く」
「その心は?」「どちらも発展(8点)間違いなし!」
おあとがよろしいようで(^)。よい年末・年始をお過ごし下さい。笑顔の多い一年になりますように!

